

05. 死亡退院患者率

入院患者のうち死亡した患者の割合です。一般的にはこの数値が低い方が良いとは言えますが、対象患者のタイプ（年齢、性別、疾患の種類、重症度など）によって大きく違いが生じるので病院間の比較は難しいです。病床数が少なく、慢性期の患者が多い病院では高くなり、病床数が多く急性期が多い病院では小さくなる傾向になります。

■資料

2020年度 日本病院会QIプロジェクト

死亡患者割合（精死亡率、ホスピス病床を除く）

平均値 3.7%（前年比 +0.3）

中央値 3.4%（前年比 +0.2）

最大値14.7%（前年比 -2.6）

最小値 0.0%（前年比 ±0）

■当院値の定義・計算方法（ホスピス病棟除く）

①粗死亡率

分子：死亡退院患者数

分母：退院患者数

②精死亡率

分子：死亡退院患者数－入院から48時間以内死亡患者

分母：退院患者数

③術後10日以内死亡率

分子：入院手術実施者のうち10日以内死亡退院患者数

分母：入院手術件数

■ 当院の数値

年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
退院患者数	14,291	15,378	15,720	15,444	15,549	15,721	16,195	15,639	16,141	14,660
死亡退院患者数	594	560	523	508	586	565	552	547	602	545
48時間以内退院死亡患者数	87	101	113	92	88	101	84	87	92	97
術後10日以内死亡退院患者数	20	22	17	20	19	20	34	21	27	41
入院手術件数	5,384	5,798	6,139	6,240	6,299	6,480	6,484	6,427	6,965	6,412
粗死亡率	4.2%	3.6%	3.3%	3.3%	3.8%	3.6%	3.4%	3.5%	3.7%	3.7%
精死亡率（48時間以内除）	3.5%	3.0%	2.6%	2.7%	3.2%	3.0%	2.9%	2.9%	3.2%	3.1%
術後10日以内死亡率	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.5%	0.3%	0.4%	0.6%

